

社保・平和運動ニュース 第44期 No.3

発行：2020年6月12日 全日本民医連 社保運動・政策部/共同運動部

TEL：03-5842-6451 FAX：03-5842-6460 MAIL：min-syaho@min-iren.gr.jp

医療機関、介護事業所へ緊急の財政支援を

～全国から1,147団体の署名を厚生労働省に提出～

国民のいのちを守る「医療と介護を守れ」

緊急行動提起に呼応し 6.10 緊急国会議員要請行動を開催



全日本民医連は6月10日「新型コロナウイルスの影響で国民のいのちをまもる国会要請行動」に、取り組みました。木原望事務局次長からは民医連加盟の全国の医科法人を対象に実施した調査を報告。

介護現場については、林泰則事務局次長から実情について報告をしていただきました。6/1から取り組んだ緊急財政支援を求める団体署名を提出。わずか1週間で1,147団体から集まりました。



日本共産党倉林明子参議院議員、立憲民主党岡本あき子衆議院議員、無所属芳賀道也参議院議員から挨拶を頂き、倉林明子参議院議員からは「医療機関、介護事業所をつぶさせない！医療、介護の体制を守る責任は国にある、今後の運動でぶれずに団結をして頑張りぬきたい」と述べ、議員要請行動に向けてエールをいただきました。東京、埼玉民医連は事前にアポを取った議員へ要請行動に向かい、今の実態を話して医療、介護に財政支援を直接訴えました。

追加で今日までに届いた88の団体署名も厚生労働省、大臣官房総務課へ送りました。たくさんの一言メッセージ、署名へのご協力ありがとうございました。

地域の中で「いのちの相談所」としての役割を發揮しよう！

国民のいのちを守る「医療と介護を守れ」の宣伝グッズ各県連へ6/22配布します。配送先は6/15までにFAXかメールでお知らせ下さい(全民医発(44)第ア-96号6月5日付通達)

宣伝物の活用について

全日本民医連理事会アピール(2020/5/16)で、「いのちの相談所として、拡大する地域の困難に寄り添い健康権を守りましょう」と呼びかけられました。

新型コロナウイルス感染症の拡大で、地域には生活に不安を感じている人が大勢います。特にこれまで社会的に弱い立場におかれてきた人々に、より大きな被害が及んでいます。今こそ、生活を守り、健康権を実現するために、すべての事業所が地域の中で「いのちの相談所」としての役割を發揮しましょう。

1. 全事業所で「いのちの相談所 民医連」のぼりを掲げ、ポスターを貼り出しましょう。
2. 「いのちの相談所 民医連」ポスターは、共同組織のみなさんにも協力をお願いし、地域の隅々に貼り出しましょう。

京都市議会が、衆参両院議長や内閣総理大臣等に宛てた、新型コロナウイルスの影響を受けた医療機関に対する支援の拡充を求める意見書を全会派一致であげました。新型コロナウイルス感染症により医療機関の経営に深刻な影響が表れており、第2波、第3波に備え、第二次補正予算による施策の早急な実現とともに、医療機関と医療従事者への支援の一層の拡充を求めています(添付資料参照)。